

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第122号(2014.08.21 発行)

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

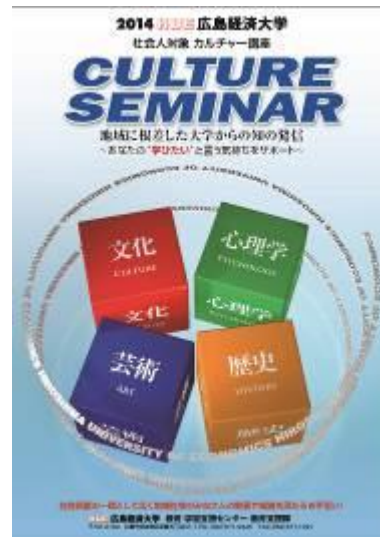
【災害のお見舞い】

この度の8月19日夜から20日朝にかけての集中豪雨、土砂崩れにより広島各地に甚大な被害が発生しました。被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げますと共に、早急なる復旧作業が行われることを切に願います。

【お詫びとお願い】

この度の集中豪雨により、本学のメールサーバーが8月19日火曜日夜より8月22日金曜日まで使用できなくなりました。この間キャリアアップ・プログラムまたはカルチャー講座へお申込みされた方がいらっしゃいましたら、再度お申込みをいただけませんでしょうか。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

《CP/CS 2学期受講生募集中 申込締切9月18日木曜日》



【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 経済学部
経営学科 准教授 池村 恵一
- ・8月24日(日)オープンキャンパスの延期決定
- ・経大見聞録
- ・2学期 CP 講義 授業計画のご紹介
『コーポレートファイナンスの基礎』
『Excel で学ぶデータマイニングの基礎』

- ・CP/CS 2 学期のラインアップと受講料
- ・公開講座『シティカレッジ』の募集ご案内(無料:9月1日から募集)
- ・ネパール騒動記『ネパールからナマステ』 Packer Taka
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・CP/CS または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経営学科 准教授

池村 恵一

2 学期 CP 講師『財務会計の基礎』

国際会計基準適用の議論にみる「長いものには巻かれろ」的主張と会計基準の合理性

今回もしぶとく国際会計基準ネタでCP巻頭言の原稿を書き上げようと意気込む筆者は、8月上旬(久しぶりに)国際会計基準のことを調べてみた。すると、多少の変化があることに気付いた。昨年、20社程度に留まっていた国際会計基準の任意適用会社数が(適用予定の会社を含めて、8月時点で)44社に増えていたのである。(一定の条件のもとで)日本会計基準に代えて適用することが認められている米国会計基準の適用会社数32社(昨年10月時点)を超えているのだから、多少の変化どころか大きな変化と言うべきかもしれない。異なる「ものさし」として敬遠されてきた国際会計基準の日本適用の気運が徐々に高まってきているのだろうか。

この変化に大きく寄与したものに、昨年に金融庁 企業会計審議会から打ち出された、国際会計基準の任意適用要件の緩和と日本版に修正された国際会計基準(以下、「修正国際基準」)の作成(宣言)があげられる。修正国際基準は、先月の7月31日に公表された。修正版といっても修正された箇所はごく一部である。しかし、このごく一部の修正には、日本の(いや、国際的な)会計学界で長らく議論されてきた(メジャーな!)論点が含まれているのである。もちろん、それだけにやや難解である。難解だから、なのであろうか、ここ数週間にみる新聞記事での修正国際基準の扱いが少し悲しい。修正国際基準が「有難迷惑」的に捉えられているからである。

現在、日本の資本市場においては、(条件はやや異なるが)4つの会計基準の適用が認められている。日本会計基準、米国会計基準、ピュアな国際会計基準、修正国際基準である。ここで少し用語解説。会計基準とは、企業の活動を項目と金額からなる情報(たとえば貸借対照表や損益計算書)に置き換えるひとまとまりの会計処理ルールをいう。会計基準のもとで生み出される情報は、投資家の投資意思決定において利用されているといわれる。いってみれば会計基準は良い企業を選別するための「ものさし」ともいえる。会計基準が異なれば、企業の活動が同じであっても、計算される利益の金額は異なる。だから異なる会計基準が代替的な選択肢として複数用意されている状況は、企業を比較して分析しようとする投資家に混乱をもたらすおそれがある。となれば新聞記事で「有難迷惑」が大合唱されるのもわかる気がする。

しかしながら、修正国際基準は、ピュアな国際会計基準の導入を促そうと公表されたものであり、作り手の意図に反して有難迷惑はやっぱり悲しい。投資家・民間企業でしっかり議論してもらいたいという意図から、修正国際基準では、それがピュアなもの、どのような点で異なるのかということがしっかり明示されている。筆者が抱いている懸念は、(修正

国際基準の公表をきっかけに)代替的な選択肢が乱立されているなら、一層のこと「長いものには巻かれろ」的立場をとることが安全で、さらに市場の国際化の促進にも望ましいという一辺倒な主張が横行しないだろうかというものである。そのような主張は、特定の市場と整合した会計基準の合理性を無視するものだからである。日本の資本市場で長らく使われてきた日本会計基準という「ものさし」をそっくり代えてしまえ、という主張は日本の資本市場を前提に行われてきたこれまでの議論を無視することになる。また、修正国際基準が日本の意見をピュアな国際会計基準に取り入れさせるための布石であることも忘れてはならない。これも日本の国益を念頭に置いた1つの戦略である。国際ルールの作成現場における日本人枠はごくわずかであり、そこで労を惜しまず資源を投入しているブレインは確かにいる。しかし、彼らの力だけでは日本の意見を国際ルールに反映させることはできない。修正国際基準は、国際ルールに対する日本の意見発信そのものなのである。国際会計基準の適用に関する議論の背景には、こうした国益をめぐる交渉が存在しているのである。

■オープンキャンパスは延期となりました

8月24日(日)曜日のオープンキャンパスは、この度の集中豪雨の被害のため延期となりました。

来学を計画されておられた方にお詫び申し上げます。

今後のオープンキャンパス日程につきましては、CP 通信の次号でお伝えできると思います。本学のホームページにも載りますのでご覧いただけましたら幸甚です。

オープンキャンパス URL: http://www.hue.ac.jp/exam/open_campus/index.html

■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒーブレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【8/5】女子学生のためのキャリアデザイン研究会を開催

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008076.html>

【8/8】子ども達を守ろうプロジェクトが夏休みの宿題お手伝いするイベント「Stanza Chiara～スタンザ キアール」を開催

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008082.html>

■大雨洪水被害に関する本学からの情報

【8/20】集中豪雨による影響と対応について

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008093.html>

【8/21】8月24日(日)のオープンキャンパスは延期します

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008097.html>

■2学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義の授業計画ご紹介

今回は2学期の水曜日は2講座あります。『コーポレートファイナンスの基礎』ベーシック(基礎)科目と『Excelで学ぶデータマイニングの基礎』(ベーシック)科目の授業計画(シラバス)をご紹介します。

【お申込みは】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html#>

【受講者の声をご覧ください】

2013 年度には、昨年度行った『コーポレートファイナンスの基礎』の受講者の声があります。

2013 年度 2 学期 CP 受講者の声 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2013.html#2term>

2014 年度 1 学期 CP 受講者の声 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2014.html>

科目名	コーポレートファイナンスの基礎 ベーシック(基礎)科目	
講義日	10 月 23 日、30 日、11 月 6 日、13 日、20 日、27 日 毎週木曜日 計 6 回	
副題	より合理的なビジネス判断を下したいあなたのために	
担当者	渡邊 昌彦	
対象者	お金のことがわかるマネージャーになりたいあなたのために	
概要	企業の資金調達、直接金融を中心にしたものに移行しています。企業は世界中の投資家を意識して企業価値を上げていく必要があります。高度成長期のように「お金のことは財務部門に任せておけ」、「お金はあとからついてくる」といったような経営ではスムーズな資金調達は不可能です。企業価値をあげ投資家からの信頼を得るためには財務部門だけに任せるのではなく全社をあげて取り組んでいくことが極めて重要です。本講義ではこの点について皆さんと考えてまいりたいと思います。	
授業内容	第 1 回 10/23	企業財務の範囲と役割
	第 2 回 10/30	資金調達方法の変化(なぜ直接金融なのか)
	第 3 回 11/6	企業価値とは(株価、時価総額の重要性)
	第 4 回 11/13	資本構成とコスト
	第 5 回 11/20	資本構成の在り方
	第 6 回 11/27	合理的な投資決定とは
授業の形式	座学とディスカッション形式併用	
授業の進め方	1.理解をより深めていただくため受講者の皆さんにもお考えいただきながら出来るだけ対話方式を進めてまいります。 2.トピックス的なものなど身近な事例を多く取り入れて講義を進めます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	「お金のことは難しく良くわからない、苦手」という人が結構おられます。しかしお金は人や企業が社会生活を営んだり、発展して行く上で絶対になくってはならない非常に重要なものです。特に近年では企業は資金調達を直接市場から行うことが求められています。このような環境下ではお金のことを放置したり人に任せたりせず、自ら理解を深め関わって行く努力が必要です。この講義ではお金のことについてできるだけわかりやすく進めたいと思います。	

講師紹介	<p>渡邊 昌彦（経済学部 経済学科 教授）</p> <p>1946年香川県生まれ、1970年3月神戸大学経済学部卒業、同年4月東洋工業（現マツダ）入社、一貫して財務を担当（資金調達、資金運用、プロジェクトファイナンスの実施、為替リスクヘッジなど幅広い業務を経験）</p> <p>1996年6月資金部長、1999年6月財務本部長（1996年から2001年3月までマツダの事業再構築に中核メンバーとして関わった）</p> <p>2003年4月広島経済大学教授</p>
------	--

科目名	Excel で学ぶデータマイニングの基礎 ベーシック(基礎)科目 ※1学期の「Excel で学ぶデータマイニング入門」の応用編です。	
講義日	10月23日、30日、11月6日、13日、20日、27日 毎週木曜日 計6回	
担当者	村山 秀次郎	
副題	データ分析を通して新たな職種、データ・サイエンティストをめざしたいあなたのために	
対象者	品質管理、金融、IT、調査、マーケティングほか企業における数字の分析に関わるすべての方にお勧めします。	
到達目標	データの分析手法・ビジュアル化手法を習得し実務でのさらなる適用を目標とします。	
概要	<p>Excel で学ぶデータマイニング基礎編は入門で学んだことをより実務面で応用できるように各種のデータを使った演習を行います。</p> <p>どんな宝物（情報、知識、知見、仮説、課題など）が見つけれられるかの第一歩です。</p> <p>最近注目の職種データ・サイエンティストは今後業種に関係なくどんな企業でも求められる人材です。</p> <p>勉強するのは“今でしょ！”。職場での適用をお考えの方、データをお持ちください。一緒に解決しましょう。</p>	
授業内容	第1回 10/23	ビッグデータを担うデータ・サイエンティストとは。ビッグデータを適用した事例など
	第2回 10/30	最適化問題を解く ～ソルバー～
	第3回 11/6	ピボットテーブルを活用する ～クロス表～
	第4回 11/13	リスク分析からソリューションを考える ～数量化理論I類応用～
	第5回 11/20	複数の要素を構成する最適な組み合わせ ～コンジョイント分析～
	第6回 11/27	【宿題】コンジョイント分析の演習 (実際にアンケートを作り受講者間で確認・評価を行います)
授業の形式	座学と演習形式併用	
授業の進め方	授業の前半は手法等の説明を後半は実機演習です。Excel のデータ分析機能を適用し、課題に挑みます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。PC は各自ご持参ください。Excel を使用しますので Excel 2010 または 2013 のインストールを事前に行ってください。	

受講者へのメッセージ	Excelの基本操作は行いませんので、操作にある程度自信のある方対象です。基礎コースですので過大な期待は禁物。場数を踏むことで実務のどこに適用可能かを探っ て欲しいと思います。
講師紹介 (自己紹介)	村山 秀次郎 (経済学部 ビジネス情報学科 教授) 1945年 山形県生まれ 立命館大学工学部数物科、大阪大学大学院情報科学研究科 博士後期課程修了 博士(情報科学)。国内コンピュータ・メーカー系 SE 会社にて SE を 34年間勤務後 2002年広島経済大学教員に転職。研究テーマは企業のデータや、社会の データにデータマイニング(データを採掘し、情報、知識、知見、などを探る方法のこと)を適用 し新しい情報関連や課題などを見つけるプロセスの研究。および、企業・社会への適用の ためのソリューションの研究。特にリスク分析およびソリューションに注力

■キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS) 2学期のラインナップ

Ctrl キーを押さえながら講座名をクリックすると授業計画(シラバス)がでてきます。

CP/CS	講座名	開講曜日	開講日(計6回)
CP	財務会計の基礎	月曜日	10/6,10/20,10/27,11/10,11/17,12/1
CP	歴史から読み解く日本の企業経営		
CP	国際金融の基礎	火曜日	10/21,10/28,11/4,11/11,11/18,11/25
CP	ゲーム理論の基礎		
CP	確率・統計入門	水曜日	10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26
CP	マーケティングの基礎		
CP	コーポレートファイナンスの基礎	木曜日	10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27
CP	Excelで学ぶデータマイニングの基礎		
CP	実務に役立つ経理入門	金曜日	10/24,10/31,11/7,11/14,11/21,11/28
CP	経営戦略論の基礎		
CS	乱世を生きた人々 ～戦国軍記の群像～	水曜日	10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26

お申込みの際は必ず授業計画(シラバス)をご覧いただき、講義内容をご確認の上お申込みください。

【カルチャー講座(CS)お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

■公開講座『シティカレッジ』の募集ご案内

今年度、広く地域社会に提供している公開講座(シティカレッジ分とひろしまカレッジ分)は次のとおりです。

教育ネットワーク中国、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団と広島県内の各大学との共催によりシティカレ
ジ(公開講座)が実施され、本学の講座は、『地域が元気!』と題し、10月28日～11月25日までの毎週火曜日に連続
5回開講されます。

【テーマ】 **地域が元気!**

【講座概要】 広島は気候が温暖で人情も厚く暮らしやすい場所として定評があります。私たちはそのような自然環境を
認識し、暮らしに活用しているでしょうか。今回、本学は「地域が元気」というテーマで、その研究者二人の知識・情報を
提供します。まず、発想の転換から地域の底力が発揮される仕組みの実態をご紹介します。また、自分たちの土地が生
み出すものと人間との相互関係を考え、「道の駅」にも見られる「地産地消」の暮らしを考えます。そして広島県が瀬戸内
を巻き込んだ構想「瀬戸内しまのわ 2014」を知ることで、身近な地域を広くつなげてゆくことを今回の講座の目標としま
す。

【募集定員】 100名(定員になり次第、締切)

【受講料】 無料

【聴講者資格】 社会人の方ならどなたでも聴講できますが、毎回参加できる方を募集します。

(※受付開始は9月1日(月)からです。「申込手順」に従いお申込みください。本学では受講の受付はしていません)

シティカレッジの詳細は http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/city_college.html

【場所】 広島市中区袋町 6-36 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟 6階マルチメディアスタジオ

《第1回》

【日時】 10月28日火曜日 18時～19時30分

【講師】 藤谷 則夫(本学経済学科 教授)

【テーマ】 今起きていること これから起きること

【講義概要】 地域社会及び地域経済を考える上で、今の世の中の大きなトレンドを知り、これから起きることを踏まえて対策を考えておく必要があります。そこで、5つのメガトレンドについて解説します。目からウロコのお話を用意しています。

《第2回》

【日時】 11月4日火曜日 18時～19時30分

【講師】 藤谷 則夫(本学経済学科 教授)

【テーマ】 まちの中核を何にするか

【講義概要】 まちづくりにおいて、ここに何を建てるか、そこをどうするかという「部分最適」の話が横行しています。まちの代名詞を何にするかといった「全体最適」の考え方が必要です。海外を含めたいろいろな事例を紹介します。

《第3回》

【日時】 11月11日火曜日 18時～19時30分

【講師】 藤谷 則夫(本学経済学科 教授)

【テーマ】 コミュニティビジネス

【講義概要】 地域が元気になるためには、そこに住んでみたい、行ってみたいという魅力づくりが大切ですが、それを支える経済基盤の安定とお金が循環する仕組みが必要です。各地の先進事例を紹介しながら、地域に根ざしたビジネスのあり方を探ります。

《第4回》

【日時】 11月18日火曜日 18時～19時30分

【講師】 山本 公平(本学スポーツ経営学科 准教授)

【テーマ】 道の駅や農産物直売所での地産地消によって地域農業を元気に

【講義概要】 昨年の松江自動車道の開通によって、「道の駅たかの」での地元農産物や特産品の販売の盛況ぶりが報道されています。本講義では、県内の農業者が新鮮で美味しい農産物を消費者に直接届けるために行っている様々な活動を紹介し、地域農業の展望を考えていきます。

《第5回》

【日時】 11月25日火曜日 18時～19時30分

【講師】 山本 公平(本学スポーツ経営学科 准教授)

【テーマ】 アートやスポーツによって離島を元気に

【講義概要】 県内には 30 を越える有人島がありますが、その多くでは人口減少と高齢化によって地域コミュニティの存続が危ぶまれています。本講義では、県内の離島でアートの島づくりやスポーツイベントの開催によって地域を元気にする活動を紹介します。離島の地域コミュニティの存続について考えていきます。

■ネパール騒動記

ネパールからナマステ

Written By Packer Taka

第 2 話 ネパール観光会社の観光ツアー

ゲストハウス(以下“GH”)に着くと日本語の堪能な旅行会社の社長(以下“ビスタさん”)が待っていた。チェックインを済ませ部屋に荷物を下ろし、誘われるがまま彼の事務所へ散歩がてら一緒に行った。

ビスタさんからすると“鴨がネギ背負って来た”と言わんばかり、カトマンズ市内観光の商品を色々説明してくれたが、ワシはビスタさんに『ワシはカトマンズには全く興味がなく、この街で観光したいところはない。』とネパールに来たワシの 4 つのミッションを彼に説明した。

Mission 1 ヒマラヤの神々しい山々を観たい。

ビスタさん曰く、『雨季で地上からは雲がかかり見えにくいので、飛行機からヒマラヤ山脈を見るマウンテンフライトに乗れ』と言うので予約。

また『地上から山を観たいのであればカトマンズ郊外のナガルコトと言う街(村)へ 1 泊 2 日で行けば観えると思う。』と言うのでこれも予約。

Mission 2 超軽量飛行機に乗り、マチャプチャレの山頂を観たい。

ビスタさんはこの飛行機を飛ばしているポカラの航空(?)会社に電話で確認してくれたが、雨季のため超軽量飛行機はシーズンオフで飛んでいないことが分り断念。

Mission 3 ポカラでパラグライダーに乗りたい。

これは雨季でも飛んでいるというので予約。

Mission 4 象の背中に乗る。

象の背中に乗りチトワン国立公園のジャングル 2 泊 3 日ツアーを予約。

爬虫類が全くだめなワシが、何も考えず象に乗ることだけを考えジャングルに行くことになってしまった…

Mission 1. 3. 4. のツアー代金を 908 米ドル(当時のレートは 1 ドル 80 円)支払ったらしい。

幾ら支払ったのか…記憶にない。と言うか考えたくなかった。ワシとしたことが、全く値切らず、こんな香具師のような観光会社の社長の言いなりで高い(?)ツアーを予約したのは、ワシの脳ミソと身体が完全に拒否しているネパールで 2 週間、自己啓発をしつつ、目的意識を持ち、楽しく過ごす(?)ためなのだ…と思いたかった…と自分自身に言い聞かせていた。

なんら価格交渉もせずツアー代金を支払ったためか、ビスタさんは手放しで喜んでくれ、今日の夕食を一緒にと誘われてしまった。値切り交渉を忘れるくらい、早くツアーを済ませ日本へ帰りたいという気持ちが大きかったようだ。ワシとしたことが“何たる不覚…”と、自身の汚点をネパールに残してしまった。

それから GH に戻ったが、頭と身体が拒否し、外へ出る気もしなかったので食堂でビールを呑んだ。ビールの銘柄は Everest Beer で大ビン 1 本 330 ルピー(当時約 330 円)だった。その後、GH の建物の 1 階にある食料品店で同じビー



ルを買うと160ルピー(約160円)、ミネラルウォーターは15ルピー(約15円)だったので、その後カトマンズにいる時にはその食料品店でBeerとミネラルウォーターを買った。カトマンズに居る間、その食料品店の女主人は『Very very cold beer please』とワシのエエ加減な英語を聞いてくれ、夕方ビールを買いに行くと冷凍庫からビールを出してくれた。しかし、冷凍庫に入れるタイミングが悪いのか、ネパールの電力事情が悪いのか、ほとんど冷えてはいないが彼女の気持ち嬉しかった。

その日の夕方、ビスタさんはGHに迎えに来てくれ、ワシがビスタさんの奥さんと子供も呼んで一緒に食べようと提案し、地元の人で賑わっているレストランへ行って食べた。そこの勘定は家族を呼んで食べようと提案したのでワシが支払ったが、大人3人子供1人が食事をしてジュース3本、ビール1本で800ルピー(約800円)だった。

明日はマウンテンフライトとナガルコットへ1泊2日に出かける。

This story is to be continued.

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。ご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。ご寄稿頂ける方は career-up@hue.ac.jp または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM